
平成30年度スポーツキャリアサポート戦略における アスリートに対する支援者等からの資金拠出事業

実施報告書

企画調整段階において、本活動（アスリートキャリアサポート戦略におけるアスリートに対する支援者等からの資金拠出活動）趣旨を、今後、ALL JAPAN（産官学）の広義のステークホルダーに発信できる活動名

「次世代アスリート・キャリア育成大使 Japan 47 Stars」を冠することで、支援者からの本活動に対する高いコミットメントを獲得することから本事業ムーブメントを始動させるため、まずは地域を代表するステークホルダーとなる自治体、地域スポーツ関係諸団体へ本事業の主旨を説明し、賛同を得ることを目的として計画、始動した。

① **候補地・候補者の選定** に関して以下の指針をもとに活動。

本事業活動を先導するムーブメント獲得のために、

1. 30年度は本活動のモデルとなる活動を展開
2. 産学官の連携推進が見込まれるエリアを選定

また、今後、「ALL JAPAN」のムーブメント形成のため、モデルとなるエリア区分を関東近県エリアと地方エリアに分類し、対象となる自治体、スポーツ関係諸団体にアプローチ。エリア選定基準は以下のように定めた。

1. 自治体：本事業へのコミットメントの高いエリア選出
2. 大学等：本事業連携が期待できる同エリア内大学等教育機関及び地域スポーツ関係諸団体の存在するエリアの選択。

地方エリアにおいては、上記基準に加え知事部局においてスポーツ担当セクションを有する自治体を参考とした。

② **モデルエリアを選定**、下記3県に決定。

「関東エリア」

1. 茨城県：アスリートを多く輩出している。地元大学との連携が図れる可能性がある。また、県はもとより市区町村及び地域スポーツ関係諸団体等のスポーツ推進環境が積極的。

2. 埼玉県：アスリートを多く輩出している。地元大学との連携が図れる可能性がある。また、県はもとより市区町村及び地域スポーツ関係諸団体等のスポーツ推進環境が積極的。

「地方エリア」

3. 静岡県：知事直轄スポーツ部局が存在し、積極的なコミットメントが期待できる。またサッカーをはじめスポーツが盛んな地域で、官民共のスポーツ推進環境が積極的。

次世代アスリート・キャリア育成大使

Japan 47 Stars

次世代アスリート・キャリア育成計画の事業コンテンツ。

日本を代表する歴代アスリートの育成・現役時代から現在へ続く軌跡の中で、

キャリアを支えた、人、地域、社会に焦点をあてて、

アスリートキャリアを育成する社会の在り方を考える機会を作り出します。

全国47都道府県から、各スポーツ分野で成功を収めたアスリート達を取材。

アスリート経験者だから分かる、日本のスポーツを取り巻く環境や、

次世代アスリート育成、キャリア形成についてインタビュー形式で語って頂きます。

そして各アスリートの出身地域で地元の人達と交流するイベントを開催。

地域代表の“アスリート大使”として、スポーツ立国に向けた情報発信をしていきます



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

①地域を代表するアスリートからアスリート大使を選出

地域発国内および世界で活躍したオリンピックやパラリンピアン等から地域別にアスリート大使を選出。

〔都道府県別に選出〕

- ・都道府県教育委員会等にヒアリングし、地域のステークホルダーや住民らに親和性のある元アスリートを選出
- ・今後JSC、JOC、JPC、日ス協、競技団体などのアスリートキャリア支援の枠組みと連携を模索していく

〔選定アスリート大使〕

- 1.茨城県 瀧本誠
(元柔道オリンピック/シドニー2000大会金メダリスト、現駒澤大学講師)
- 2.埼玉県 星奈津美
(元競泳オリンピック/ロンドン2012大会リオ2016大会銅メダリスト、現日本水泳連盟アスリート委員)
- 3.静岡県 鈴木啓太 (元サッカー日本代表、浦和レッズ所属)

②アスリート大使の軌跡・活躍を映像コンテンツ化

アスリート大使による教育CSR活動の教材として映像コンテンツを制作。

(映像コンテンツの内容)

- ・スポーツの素晴らしさに加え、自身のキャリアを支えてくれた地域社会への感謝と次世代のアスリートキャリア支援に必要性を伝えるムービー教材
- ・オリンピック・パラリンピアン等の個別素材の制作
- ・アスリート大使取材インタビューを経て5分程度の映像コンテンツを制作

③アスリート大使の「公開講座」実施による次世代へのアピール

- ・各地域の未来のアスリート及び一般を対象とした出前講座（公開講座）を地域スポーツ関係諸団体及び地域スポーツクラブ等と連携して開催。
- ・公開出前講座を多くの次世代アスリートやその家族、地域サポートを担うステークホルダーにPRし参加を募るため、チラシを作成、連携地域団体施設等で掲出、配布した。
- ・各アスリート大使とも、本人の競技体験のほか、引退後のキャリアを形成していくための行動、考え方などを講演。

茨城県



瀧本 誠（たきもと まこと、1974年12月8日生まれ）

茨城県坂東市（旧岩井市）出身。6歳で柔道を始め、柔道私学の名門「講道学舎」に入門するため単身東京へ。世田谷学園高校、日本大学卒。2000年シドニーオリンピックへ出場、金メダルを獲得。2004年には、総合格闘技に挑戦、PRIDEなどで活躍し、2009年引退。引退後は、全日本柔道連盟の教育普及委員を務める。2013年、早稲田大学スポーツ科学学術院社会人修士課程を修了。現在は駒澤大学にて講師を務め、後進の指導にあっている。2019年、統合型スポーツクラブの一環として「東京ヴェルディ柔道教室」設立。

埼玉県



星 奈津美（ほし なつみ、1990年8月21日生まれ）

埼玉県越谷市出身。2012年ロンドン・オリンピックの日本代表。高校2年生の2008年、北京オリンピックに出場し、準決勝まで進み10位となった。2009年に早稲田大学スポーツ科学部に進学、ロンドン・オリンピックでは、銅メダルを獲得した。2016年里オデジャネイロオリンピックの女子200mバタフライで2大会連続の銅メダルを獲得。2016年10月4日、現役引退を表明した。現在は、東洋大学講師・日本水泳連盟アスリート委員を務めながら、水泳の普及活動を行っている。

静岡県



鈴木 啓太（すずき けいた、1981年7月8日生まれ）

静岡県静岡市清水区出身。中学校時代は全国優勝を成し遂げ、高校は東海大翔洋高校へ進学。その後、浦和レッズに入団、2015シーズンで引退するまで浦和レッズ一筋で活躍。2006年、オシム監督時代に日本代表に選出される。現役引退後の現在はサッカーの普及に関わるとともに、AuB株式会社を立ち上げ、アスリートの良好なコンディションの維持、パフォーマンスの向上を目標に、日々研究をするなど、スポーツビジネスの分野でも幅広く活動中。

アスリート大使の軌跡・活躍の
映像コンテンツ

次世代アスリート・キャリア育成計画

Athlete Career Challenge



本事業によって、次世代アスリートのキャリア育成を、
この国の社会全体で支える仕組みをつくり、
スポーツ人材のチカラを、社会のチカラにすることで、
持続可能な社会の実現を目指します。



次世代アスリート・キャリア育成大使

Japan 47 Stars



日本を代表する歴代アスリートの
育成・現役時代から現在へ続く軌跡の中で、
キャリアを支えた、人、地域、社会に焦点をあて、
アスリートキャリアを育成する社会の在り方を見つめます。



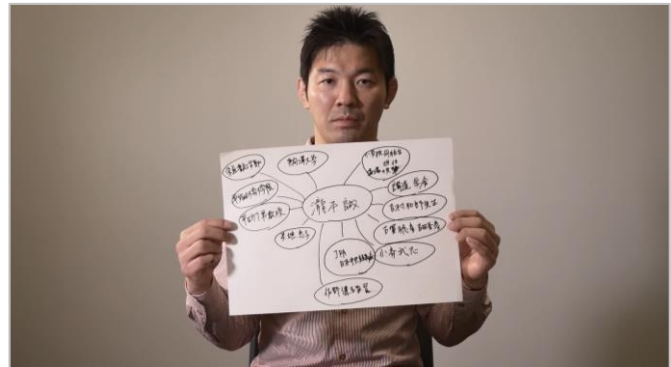
次世代アスリート・キャリア育成大使
Japan 47 Stars

滝本 誠
Makoto Takimoto

競技：柔道
出身地：茨城

1974年生まれ
1992年にインターハイ中量級で優勝
日本大学からJRA在籍時も講道館杯など
数々の大会で優勝を誇る
1999年、2000年には
全日本選抜体重別選手権2連覇
シドニーオリンピック柔道81kg級で金メダル

現在は駒澤大学で総合教育研究部専任講師
同大学で柔道部部長を務める



柔道を身近に感じられる
スポーツコミュニティを作りたい

滝本 誠

次世代アスリート・キャリア育成大使

Japan 47 Stars

星 奈津美

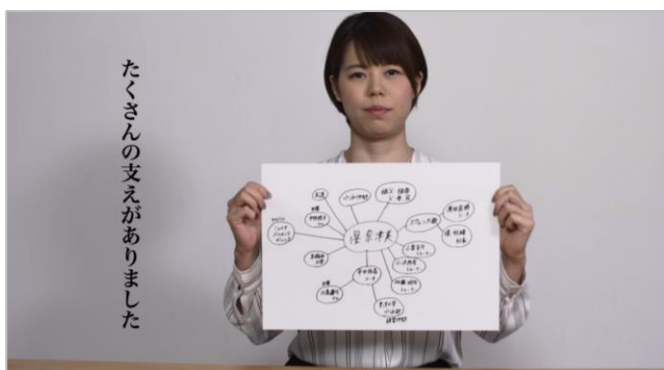
Natsumi Hoshi

競技: 競泳

出身地: 埼玉

1990年生まれ
高校1、2年の時にインターハイの200m
バタフライで2連覇
高校3年生で北京五輪代表に選ばれる
2012年ロンドン五輪で銅メダル
2015年世界水泳で金メダル(日本の女子選手で初)
2016年リオ五輪で銅メダル

現在は水泳教室の講師、テレビでの解説など
様々な面から競技の普及に力を注いでいる



たくさんの支えがありました



両親のサポートへの感謝

選手として成長するには
トレーニング環境が大切でした



次はあなたの番です

みんなのサポートが このバトンを繋ぎます

星 奈津美

次世代アスリート・キャリア育成大使
Japan 47 Stars

鈴木 啓太
Keita Suzuki

競技：サッカー
出身地：静岡

1981年生まれ
2000年 浦和レッドダイヤモンズ入団
ボランチとしてレギュラーに定着
チームの主力となり、リーグ優勝や、
アジアチャンピオンズリーグ優勝に貢献
日本代表として、国際Aマッチ28試合出場
2006年、07年にJリーグベストイレブン選出

2015年に現役引退
現在は株式会社AuB(オーブ)の代表取締役



サッカー選手としての原点は
母親に喜んで欲しかったから



サッカーを通して学んだこと

アスリートのキャリアは
人生のキャリアに繋がっていく



次はあなたの番です

スポーツで日本を健康に
日本をスポーツ大国に
皆でそんな社会を作りましょう

鈴木 啓太

公開講座

茨城県：滝本誠

件 名	スポーツキャリアサポート事業・公開講座 「地域の先輩アスリートから学ぼう、話そう！」
講演者	瀧本 誠 （元オリンピック、現：駒澤大学講師）、茨城県坂東市（旧岩井市）出身
主催	スポーツ庁
実施・運営	株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
協力	龍ヶ崎柔道スポーツ少年団（担当：龍ヶ崎市国体推進課 直井さま）
会 場	龍ヶ崎市総合体育館「たつのこアリーナ」多目的室、柔道場 ・担当：臼田様 ・住所：龍ヶ崎市中里3-2-1 ・TEL: 0297-64-8674
開催日時	2019年3月31日（日） 8:30～9:30（8時10分開場） 1時間の構成 （公開講座後には、実技指導あり） ※スタッフは、準備含めて7時入り（1時間準備、RH）
対 象	龍ヶ崎柔道スポーツ少年団の小学生（30名程度）＋中学生（数名）と 親御さん、指導員6名程度 計50名程度 （オープン形式）
参加募集	告知・応募用紙（チラシ）を、施設利用者を中心に参加募集を募る。 ※応募は先着順として施設にて受付を行う。（※個人情報取り扱い） 対象者：上記の通り、 対象人数：計50名の先着順で受付
展開内容	全体構成：60分 ①瀧本 誠さん ご紹介・冒頭説明 （5分） ②瀧本さんオープニング映像 （5分） ③講演 「夢に向かってチャレンジしよう」（40分＋5分（質問コーナー）） ④参加者全員で、スマイルフォト （5分） ※柔道教室の最後の場合もあり
参加人数	・父兄・柔道関係者：30人 ・幼児：2人 ・小学生：22人 ・中、高学生：11人 ・関係者（ADK関係者他）：2人 計：67人



瀧本 誠 (たきもと まこと、1974年12月8日生まれ)

茨城県坂東市（旧岩井市）出身。6歳で柔道を始め、柔道私学の名門「講道学舎」に入門するため単身東京へ。世田谷学園高校、日本大学卒。2000年シドニーオリンピックへ出場、金メダルを獲得。2004年には、総合格闘技に挑戦、PRIDEなどで活躍し、2009年引退。引退後は、全日本柔道連盟の教育普及委員を務める。2013年、早稲田大学スポーツ科学学術院社会人修士課程を修了。
現在は駒澤大学にて講師を務め、後進の指導にあたっている。
2019年、統合型スポーツクラブの一環として「東京ヴェルディ柔道教室」設立。

[プログラム案]……全体60分構成

1 司会者より簡単にイベントの主旨説明～瀧本さんプロフィール紹介（5分）

2 オープニング映像（約5分程度） （事前収録・制作のインタビュー映像）

講座「夢に向かってチャレンジしよう」（40分）

<展開>

※PPTスライドナシ、現役中の活躍紹介DVD ※開場中のループでの使用は当日判断

- ・幼少時代から中学・高校時代の柔道の取組方や周囲、地域の方々からのサポートについて。
- ・オリンピック出場、金メダルを獲得することが出来た経験から、次世代アスリート、子どもたちに伝えられること。

3 アスリートとして“地域、家族の感謝”を忘れずにチャレンジすることを伝える ⇒「スポーツの素晴らしさを伝える」

- ・現在、大学講師になられている瀧本さんが、今、柔道ジュニアたちにやっておくと良いトレーニング方法（柔道以外でも、食事、他スポーツの経験）を伝える。

- ・現役引退後、大学院に通い、現在大学講師を務めながら、柔道の普及活動を行うことでの、次世代アスリートの育成、地域への恩返し（還元）。

- ・現役中から考える、アスリートのセカンドキャリア
⇒地域での次世代のアスリート育成、アスリートのセカンドキャリア

4 質問コーナー（5分程度）

（子どもたち、親御さんからの質問コーナー）

瀧本さんとの全員でスマイルフォト……（5分）

瀧本さん、参加者全員によるスマイルフォトを撮影

⇒郷土のアスリートとの触れ合い・目標

※最後の5分以外での撮影は原則禁止。

8:06 開場

・「瀧本さんの紹介映像（オリンピック金メダル獲得時の試合映像）を上映

・基本会場の席は自由席。

（前席より小学生、中学生、後方席を父兄、柔道関係者として案内）

1

8:30 開会～司会より主旨説明、瀧本誠さんの紹介（4分）

・主旨説明、瀧本誠さんの紹介

2

8:34 オープニング映像「瀧本誠さんインタビュー映像」上映（6分）



3

8:40 瀧本誠さん登場、講座「夢に向かってチャレンジしよう」（38分）

・小学生から柔道を始めたきっかけ

・はじめて人を投げて柔道の面白さを知ったこと

・勝てない相手でいることで、勝つにはどの様にすべきか考えたこと

・中高「講堂学舎」で強い相手と柔道を学んだ経験

インターハイ優勝で、オリンピックメダルへの意識

・日大では、「自己管理の大切さ」を学ぶ

・やらされるのではなく、自分で考え、ああなりたいと目標を持つことが大切

・現在は、指導者として復帰、同時に学んでいる。

・理想の試合で勝つには、“自から努力し続けれる人が達成できる

4

9:18 質問コーナー（主な質問内容）

＊オリンピックで金メダルを獲った時に思ったことは。

＊中高とどのような食事をされたか

5

9:24 瀧本誠さんと全員でスマイルフォト）

小中高生、父兄、柔道関係者含めた、瀧本さんとの集合写真。

9:30 講演会終了 ～10:00からの実技指導の案内～

9:30 休憩・柔道着更衣

10:00 瀧本誠さんの実技指導（2F：柔道場）

- ・瀧本さんが技のお手本（実技）を紹介した後、生徒達が組み合っの技の掛け合いと瀧本さんの指導。
- ・技ごとに、実技と指導
- ・終礼



10:50 瀧本誠さんとの集合写真 及び 個別写真、サイン

- ・柔道着を着用しての集合写真の実施
- ・個別の写真、サインの対応

11:00 瀧本誠さん・実技指導終了

TIME	TIME	内容
6:20	6:20	ADK・スタッフホテル出発（朝食は各自調整）
7:00	6:40	スタッフ会場入り、会場準備 6:40～8:00 （※登場時のルート、集合写真撮影場所事前決定）
7:20	7:20	瀧本誠さんホテル出発（タクシー移動、※タクシー事前予約）
7:45	7:45	瀧本誠さん 会場入り ・会場入り：控室（控室2を利用、多目的室奥） ・軽食準備 ・打合せ、DVD受取（動作確認、使用箇所検討） ・リハーサルはなし、会場・場当たりのみの確認
8:00	7:50	MCリハーサル（段取り確認）
8:10	8:06	開場：多目的室
8:30	8:30	公開講座（60分構成） ●開会、主旨説明、瀧本さんプロフィール紹介（5分） ●オープニング映像（約5分） ●瀧本誠さん講座「夢に向かってチャレンジしよう」（40分） ●質問コーナー（約5分） ●瀧本さんと全員でスマイルフォト（5分）
9:30	9:30	講座終了、柔道場へ移動 ・瀧本さま柔道着に着替え、休憩 ・機材撤去、搬出
10:00	10:00	柔道場にて実技指導（進行：柔道スポーツ少年団様） ●終了時に、柔道場・柔道着にて全員にて記念撮影
11:00	11:00	終了
12:00	11:30	終了 退館

実施会場

龍ヶ崎市総合体育館「たつのこアリーナ」（住所：龍ヶ崎市中里3-2-1）

*講座会場：多目的室

*実技会場：柔道場

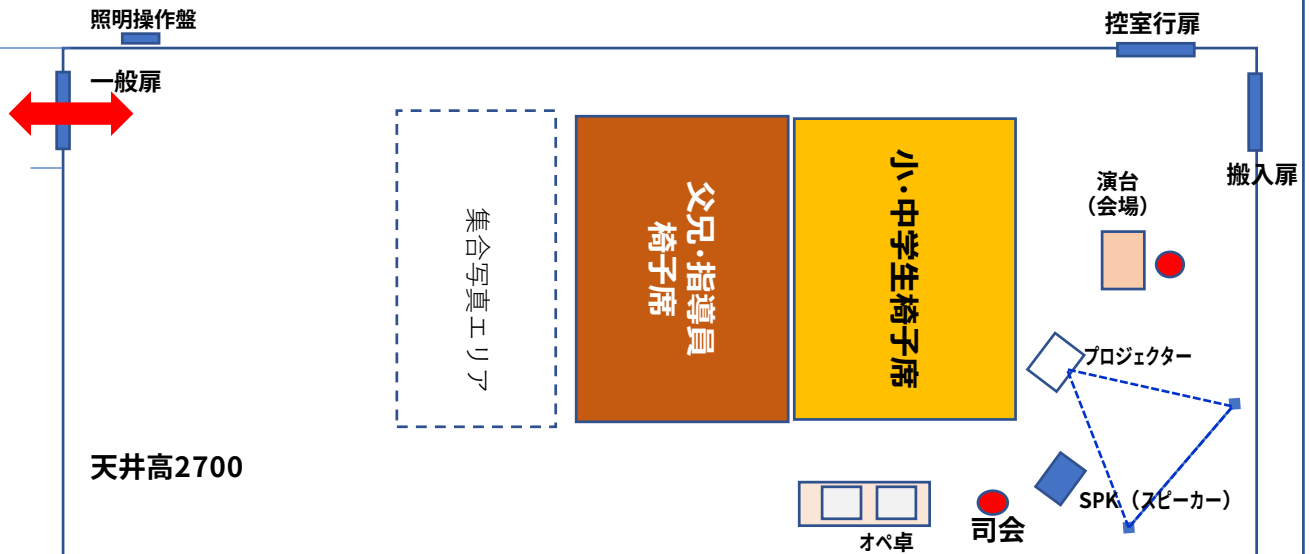
*控室：控室2（多目的室奥）

※龍ヶ崎市：2019年国体の柔道会場



会場レイアウト

多目的室



準備物・備品

- 【ADK準備】
- ・MC（女性）
- ・映像機材（プロジェクター）
- ・音響機材すべて一式持込
- ・プレゼン用PC
- ・ハイチェア
- 【会場でお借りするもの】
- ・椅子（計60脚）
- ・演台
- ・スクリーン
- ・ホワイトボード
- ・イス、長机（PCオペ用）

スクリーン（放送室）



演台（アリーナ倉庫）













スポーツキャリアサポート公開講座

(主催：スポーツ庁、実施・運営：ADK、協力：龍ヶ崎柔道スポーツ少年団)

先着 50 名様

Judo

瀧本 誠

Makoto Takimoto

地域の先輩アスリートから学ぼう、話そう！

スポーツキャリアサポート公開講座

茨城県から世界へ！

第2の瀧本誠を目指そう！

スポーツ庁「スポーツキャリアサポート戦略」事業は、トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、アスリートのキャリアについて、関係者が協働して、効果的な支援を行うための仕組みを構築することを目指します。

地元出身のアスリートから、自らのキャリアを支えてくれた地域社会への感謝と、次世代のアスリートキャリア支援の必要性を伝え、“アスリートの夢と地域の夢”を実現することを目指します。

3月31日(日)

・8:10開場、8:30開演、11:00終了

・会場：たつのこアリーナ 多目的室・柔道場
(住所：龍ヶ崎市中里3-2-1)

「夢に向かってチャレンジしよう」と題し、講演を行います。これからアスリートを目指す、お子様や親子の方向けに地域を代表するアスリートの先輩：瀧本誠さんより公開講座を、講演後には、柔道場にて、柔道の実技指導も行います。

講演を受けて、第2の瀧本誠を目指そう！



瀧本 誠 (たきもと まこと)

茨城県坂東市(旧岩井市)出身。6歳で柔道を始め、柔道私学の名門「講道学舎」に入門するため単身東京へ。世田谷学園高校、日本大学卒。全国中学校大会・インターハイ、全日本選抜柔道体重別選手権大会・ドイツ国際など、国内外の大会で多数の優勝を誇る。

2000年シドニーオリンピックへ出場、柔道男子81kg級金メダルを獲得。2004年には、総合格闘技に挑戦、PRIDEなどで活躍し、2009年引退。引退後は、全日本柔道連盟の教育普及委員を務める。2013年、早稲田大学スポーツ科学学術院社会人修士課程を修了。

現在は駒澤大学にて講師を務め、後進の指導にあたっている。2019年、統合型スポーツクラブの一環として「東京ヴェルディ柔道教室」設立。

(切り取り線)

瀧本 誠 スポーツキャリアサポート公開講座 参加申込書

氏 名	電話番号 (お子様のみのご参加の場合は、ご父兄の連絡先をご記入ください)	学校名 (小中高生は通っている学校名をご記入ください)

※申込書は、龍ヶ崎柔道スポーツ少年団にご提出ください。

※定員に達した場合は、受付終了となりますので、ご了承ください。

※本イベント中、スポーツ庁の運営・広報活動のため、写真・動画撮影を実施いたしますので、予めご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報は、本イベント以外に使用することはありません。